

■平成 29 年度敦賀市中池見湿地保全活用協議会 第一回会議

[議事録]

日 時：平成 29 年 5 月 22 日（月）14：30～16：30

場 所：敦賀市中池見湿地ビジターセンター

出席者：会員：11名、顧問：4名

1 あいさつ

- 平成 29 年度敦賀市中池見湿地保全活用協議会第 1 回会議の開催にあたり、増田副会長より以下のあいさつがあった。
 - ・ 前回会議にて井上前会長からのご退任の意向が示され、急きょ副会長に任命され会長職を代行させていただいている。
 - ・ これまでの会議にて、様々な議論があった。その中から財政対策などの取組も進められてきている。今後、さらに発展させることになると思う。
 - ・ 全体の会議としては四回目となる本日以降は、具体的な取組を進めることになると思う。そのためにはしっかりした会の代表も必要と思う。
 - ・ 本日も、皆さまからのご忌憚ない意見をいただきたい。

2 議事

【議事 1】会員異動

- 会員異動について、団体窓口の担当者変更について事務局より資料 1 に基づき説明があった。
- また、新会員として福井県立大学・田原准教授の加入について説明があった。
→全員一致で了承された。
- 続けて、会長の選出があった。会長選出では議長（増田副会長）より事務局からの提案を促され、事務局からは、井上前会長からの推薦もあることから福井県立大学・田原准教授に依頼したい旨説明があった。
→全員一致で了承された。

[田原会長あいさつ]

- ・ 中池見湿地にはこれまであまり関わりがなかったが、今回をきっかけに中池見湿地のことを伺うなかで、大変面白い場所であると感じている。
- ・ 県内にはラムサール湿地として三方五湖があり、その自然再生協議会に関わっている。一方で、中池見湿地と三方五湖ではその状況はだいぶ異なるように思う。
- ・ 地元の方々、特に子どもたちにも中池見湿地に来訪いただき、県内のラムサール湿地・三方五湖との違いを学んでいただきながら、中池見湿地の大切さに気付いていただけるようになるとういと思う。

【議事 2】 前回（H28 年度第 3 回）会議議事録の確認

- 前会議について議事録を確認し、特に、質疑応答はなかった。

【議事 3】 参加団体平成 29 年度活動計画

- 平成 29 年度の活動計画として、資料 3 に基づき会員からの説明があった。資料がない会員からは口頭にて説明があった。
- （会員） 1 回/月の広報を行っており、その中で中池見湿地の紹介もしてきた。今後も同様に取り組みたいと思う。
- （会員） 3 月 25 日に職員によるボランティア作業として清掃をさせていただいた。今年度も同様な取組を実施したい。
- （会員） 今度の 5 月 28 日にはトレイルランニングのイベントを予定しており、65 名の参加がある予定。そのうち 40 名は市外からの参加予定である。中池見湿地の専門的なことはわからないが、中池見湿地の素晴らしい自然を楽しめる集まりができるとよいと思っている。
- （会員） これまでも、会として保全活動に関わってきた。今年度も、引き続き子どもたちと保全活動に取り組みたい。
- （顧問） 近々、自然再生学会の大会が敦賀市内で開催予定であり、その視察場所として中池見湿地を活用させていただく予定を持っている。
- （会員） 6 月 3 日には江掘りを実施する計画がある。今年度も皆さまと連携して中池見湿地の保全に取り組みたい。
- （会員） 今年も一年、中池見湿地を楽しみたい。
- （会員） 中池見湿地の名前をつかって物販に取り組みでみたい。自分自身が取り組む皮の小物、ローソク、ロゴマークに取り組みで販売ができるようになるとよいと思う。友人が神戸・大阪に多いので、中池見湿地に誘いたい。
- （会員） CATV の番組で中池見湿地のことを取り上げてきた。今後も中池見湿地を紹介したい。社員が田んぼづくりに参加したり、（会員）さんのイベント紹介もさせていただいており、今後も中池見湿地の広報を担っていければと思っている。
- （顧問） 廃土による沈下で人工的に形成された笹鼻池の今後の推移を心配している。まずはその調査を実施したい。昨年度、だれでも水位を調べられるような水位計を設置したところ頻度高く計測いただいております、この結果から一年間の季節変動が分かった。今後、経年的な変化に関するデータが得られるとよいと思う。今年度も調査に訪れる予定をしているので、皆さまにもぜひご参加いただけるとありがたい。
- （会員） 中池見湿地の駐車場をナビゲーションするスマートフォン・アプリを開発している。開発中のアプリを皆さまにも御覧いただき、画面デザインなどについてご意見をいただきたい（アプリの画面）について、スクリーン説明があった）。

[質疑・応答]

- (会員) 敦賀市や中池見ネットのWebからダウンロードができるようにできるか?
→可能である。QRコードでも可能である。
→(会長)今の段階から発展させることはできるか?
→可能である。
→(会長)まずは、今の形でアップしてはどうか。その後、徐々にグレードアップすればよいと思う。
- (会長) アプリでの案内のほかに、現地での案内も必要ではないか。現在、国道8号線バイパスからの動線案内がない状況である。また、8号バイパスでトンネルを抜けると急に開けた景観となるが特段の説明はない状況でもある。どこに依頼すればよいかわからないが、検討いただきたい。
→(会員)年配者は歩くことをしない。敦賀市全般にいえるが、歩行者にとって市内の道はとても厳しい。今後、歩きやすい道を整備することも必要ではないか。
- (中池見ねっと) 市との委託契約により中池見湿地の施設管理運営、市民活動の推進、希少動植物保全事業に取り組んでいる(※その他資料に基づき説明)。昨年度の事業の中で、市民参加型活用プログラムはあまり参加がなかった。また、生きもの学校田では受託者側からバス代を出すとしているが、市内小中学校の利用への反応は低い。このあたりのご意見をいただくとありがたい。その他、独自事業としてミニ田んぼサポーター、生きものカードの取組などを行っている。さらに、外来カメ対策も推進している。昨年度から実施している募金箱については現在12か所に広がっており、今後マップにまとめて公開したい。ビジターセンターでのコーヒーの提供についても、随時進めているほか、グッズ販売についても少しずつ取り組み始めている。
- (敦賀市) 市役所職員研修実施したり、自然再生学会を県と共催するよう進めている。また、今年ふるさと納税については返礼品を大幅に充実させている(※その他資料に基づき説明)。その他、本年度の協議会会議については、10月ごろ、2~3月ごろの2回実施予定である。

【議事4】その他

- 事務局より、次の3件について説明があった。
 - ①基金の推移とふれあいの里の委託内容、及び当初目標の評価案について
 - …平成28年度は委託費が減ったもののこの程度では基金が底を打ってしまう状況には変わらない。安全のための措置は講ずる必要があり、それを考慮すると基金の使用量が減ずることはない。
 - …来場者数については、目標5万人に対して3万人を切る程度で推移している。今後、何らかの措置を講ずる必要があると考えている。
 - …保全対象種については、概ね良好な出現状況である。

…当初目標に対する評価案を検討している。今後、保全についての詳細な検討を要することから分科会の設置も必要かもしれない。

[質疑・応答]

- ・ (会員) 新幹線について 6 月にフォローアップ委員会があるという情報がある。前回の会議の際、鉄道機構の説明を受けたが、今後、希少種の対策等について気になるところがあるが、どうすればよいか? 協議会から説明を求めるとか質問状を出すことはできないのか? 中池見ねっとして説明を求めることができるが、当法人の中にも地権者等関係者がおり、実施しにくい状況である。
 - (事務局) 協議会として質問状を出すことは厳しいと思う。この協議会に関係する先生方がフォローアップ委員会にも関わってくださっているので、委員の先生方を通して情報をやり取りするなどの対応としたい。
 - (会長) 北陸新幹線については、福井市内で意見交換会を実施するところまでこぎつけることができた。フォローアップ委員会を通じての意見のやり取りは難しいと思う。
 - (会員) 公共的な工事であるので、もっと情報共有が本来されるべきだと思う。現在、それができている状況ではないと思う。
 - (事務局) この協議会への各団体からの出席者は、連絡担当者として出席している方がほとんどであり、団体を代表されているわけではない。この場で、当協議会として質問状を出すなどについての可否の決定はできないと思う。一度、各団体で持ち帰ってご検討いただければどうかと思う。
 - (会長) それはその通りと思う。今年度の第二回の会議を早めに実施するなどして協議会としての対応を協議してはどうか。
 - (会員) タイミングにあわせて取り組む必要があると思う。二回目を待つのは遅いと思う。
 - (顧問) 技術的なことを科学的に伝える会合とすることで提案してはどうか。
 - (会長) 今日の会議の時間もあるので、後日、この協議会として何ができるか事務局と相談し、皆さまにはメーリングリストで報告することとしたい。
- ・ (会員) 現在の余座池見側の駐車場は狭い。バスであれば檜曲側の駐車場が使えるが、イベントを開催すると余座池見側の駐車場はすぐいっぱいになる状況である。5 万人を目標とするというのであれば、何らかの対応をしていただきたい。
 - (会員) 5 万人の集客に値する駐車場の準備を要するのではないか。
 - (敦賀市) 5 万人の目標値は、まずは、敦賀市民が 1 回/年は中池見湿地に来ていただくことを願って設定した数値である。現在、市内の小学校、中学校にご来訪いただけるように呼びかけているところである。
 - (会長) 余座池見側の駐車場については、まずは第二駐車場があるのであれば、それをわかるように案内標識するところから取り組んではどうか。

②協議会ホームページのサイト案について

…現在、配布資料の内容でホームページの作成を進めている。概ね完了した段階で、協議会皆さまには Web リンクの可否についてお知らせいただきたい。作業進捗は、今後、メーリングリストにてお知らせする。

③ふるさと納税

…今年度の敦賀市ふるさと納税は、返礼品がだいぶ充実している。チラシを改定しているが、皆さまからのご意見をいただきながら作業を進めたい。ご意見については、後日、メーリングリストで意見をお寄せいただきたい。

(以上)